

越国防省PKOセンター開設式典における深田大使スピーチ

ミン副首相兼外務大臣、タイン国防大臣、国連フィールド支援局長アミーラ・ハク女氏、並びに本日もご列席の皆様、

この度のベトナム国防省PKOセンターの開設、並びにベトナム初となる国連PKO参加準備の完了、誠にありがとうございます。

日本国政府及び国民を代表して、心からお祝いを申し上げます。

現下の国際情勢は複雑さを増しております。国際社会や地域の平和と協調に向けた取組が見られる一方、力を背景に自己の主張を他国に押しつけようとし、或いは実力をもって一方的に現状の変更を図ろうとする試みが見られます。

不安定化しつつある国際社会において、我々は如何に振る舞うべきか。やはり「法の支配」を維持・強化していくことが極めて重要と考えます。国の大小、強弱にかかわらず、法の前には「平等である国際社会」、これを是非とも実現していかなければなりません。

我が国政府は「積極的平和主義」を掲げています。これは一言で言えば、「法の支配」に基づく国際協調の実施のため、より積極的に我が国が貢献していくという考えです。また我が国の「積極的平和主義」は、ベトナムが政治・国防分野において進めている「国際参入」の取組と、基本的に同じ考えであるといえます。

我が国はカンボジアPKOを初のケースとして、これまで20年以上にわたり、自ら国連PKOに積極的に参加しつつ、ベトナムをはじめとする諸国のPKO派遣能力の向上に協力してきました。また今後もより積極的に、世界の平和と安定に貢献し得るよう、ベトナムをはじめ各国と共に活動していきたいと考えています。

またベトナムは今回初めての試みとして南スーダンにPKOを派遣することを決定されました。我が国はこれを全面的に支持します。また南スーダンには、我が国の自衛隊施設部隊も派遣されており、南スーダン現地でも積極的にベトナムPKO要員の活動を、共に協力して支援することを約束します。この方針は、今年3月にサン国家主席が日本を訪問された際に合意された日越両国の関係を「広範な戦略的パートナー

ーシップ」に格上げするとの精神に適うものであります。日越両国の隊員が、共に汗を流して、世界の平和と安定のために協力・貢献していくことを誓いたいと思います。

日越両国の隊員の協力により、南スーダンに平和が訪れることは、南スーダンPKO活動の成功であるとともに、日越の「広範な戦略的パートナーシップ」の成功でもあります。南スーダンでの協力を機に、日本とベトナムが、アジア太平洋地域や世界の平和と安定のために、益々協力していくことを願って止みません。

最後に、世界の平和と安定のため、新たな責任を担わんとするベトナムの気高い意思と勇気を讃えるとともに、今後益々の発展を祈念して私のスピーチとさせていただきます。ありがとうございました。

(了)